

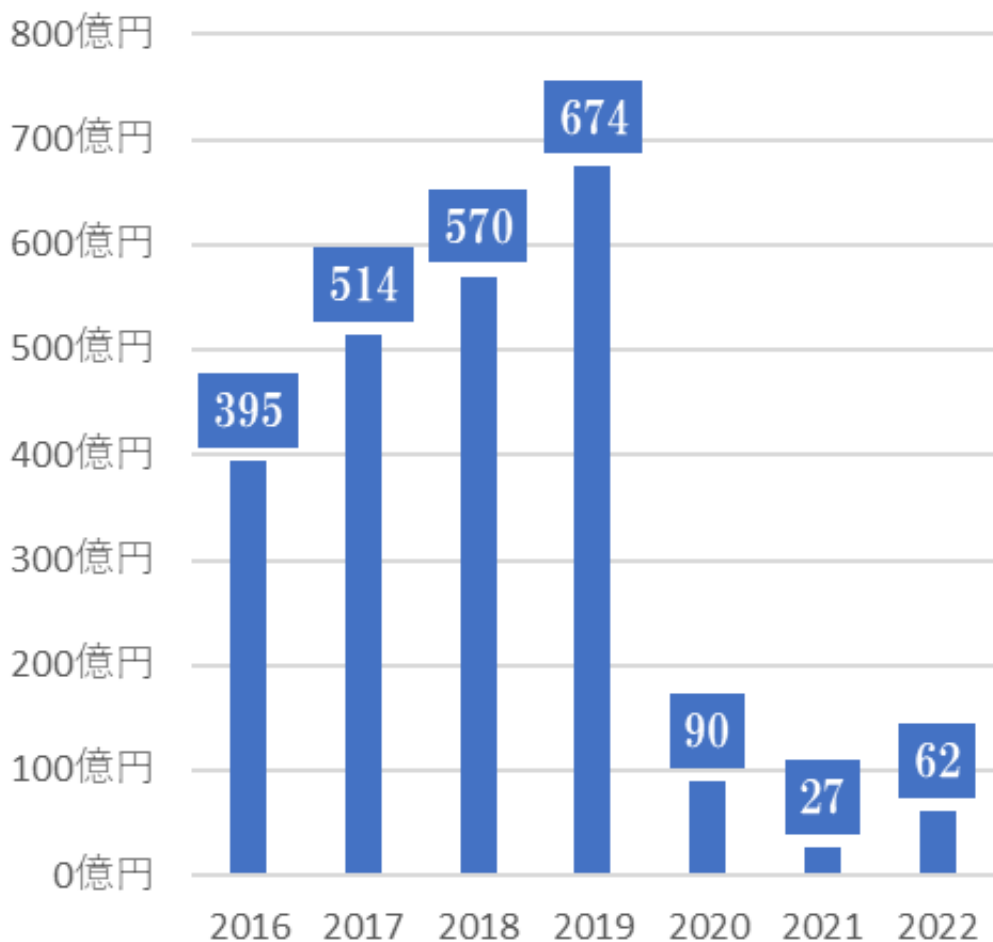
せとうちDMOが取り組む観光地域魅力アップ事例



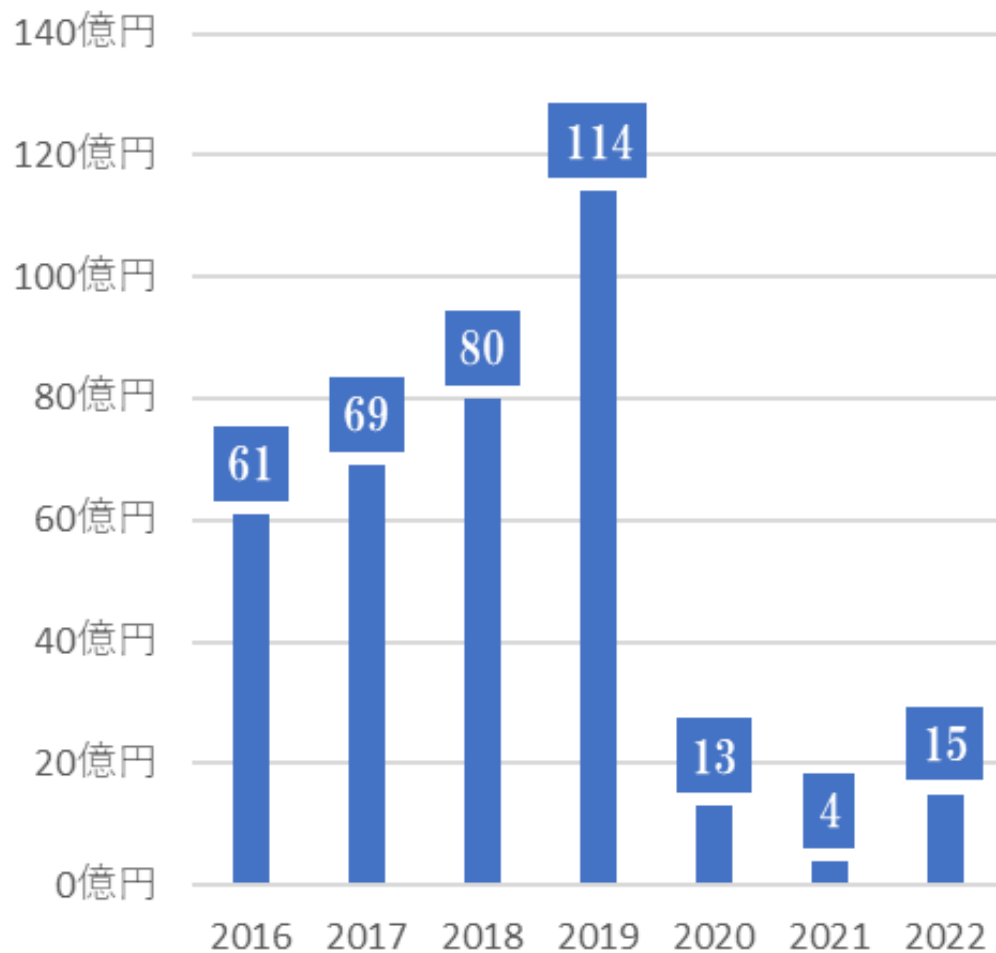
一般社団法人せとうち観光推進機構 専務理事/事業本部長 坂元 浩

訪日外国人観光消費額推移（瀬戸内7県）

訪日外国人(全体)観光消費額



訪日外国人(対象5カ国)観光消費額



※対象5カ国とは英・仏・独・米・豪を指す。

せとうちDMO ご紹介

せとうちDMO構成メンバー

観光需要の創出と観光ビジネスの拡大を目的に、官民で構成する(一社)せとうち観光推進機構と、金融機関を中心とする民間主体の(株)瀬戸内ブランドコーポレーションが密接に連携して、せとうちDMOを構築しています。

一般社団法人 せとうち観光推進機構

2013年4月、瀬戸内を共有する7県（兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県）により発足した瀬戸内ブランド推進連合から発展改組し、2016年3月に一般社団法人として発足しました。綿密な調査に基づくマーケティング戦略により瀬戸内の魅力を国内外の人々に発信し新たな観光需要を創造します。また株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションと連携し、瀬戸内の魅力を体感できる新たな観光プロダクト（観光サービスや地域産品）の開発を促進します。

■参画県及び企業

| | | | |
|-------------|---------------|-----|-----|
| 兵庫県 | 岡山県 | 広島県 | 山口県 |
| 徳島県 | 香川県 | 愛媛県 | |
| (一社)中国経済連合会 | (株)リクルート | | |
| 四国旅客鉄道(株) | (株)JTB | | |
| 西日本旅客鉄道(株) | 日本航空(株) | | |
| (株)日本旅行 | 本州四国連絡高速道路(株) | | |
| 楽天グループ(株) | | | |

計7県 9社 **DMO登録法人**

株式会社 瀬戸内ブランドコーポレーション

2016年4月、瀬戸内地域を中心とした金融機関と域内外の事業会社計46社の出資を得て、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションを設立しました。せとうち観光推進機構と緊密な連携をとり、プロモーションを通じ創出された観光需要に対する受け皿として自主事業を展開するほか、事業開発支援、観光活性化ファンドを活用した観光関連事業者への経営支援や資金支援、せとうちDMOの会員組織の運営によるサービス基盤の提供を通じて、瀬戸内地域の価値の最大化を目指します。

■出資企業

| | |
|------------|-------------|
| 地方銀行:12行 | メーカー:5社 |
| 政府系金融機関:1行 | 小売:4社 |
| 信用金庫:6庫 | 情報系・その他:11社 |
| 運輸:7社 | |

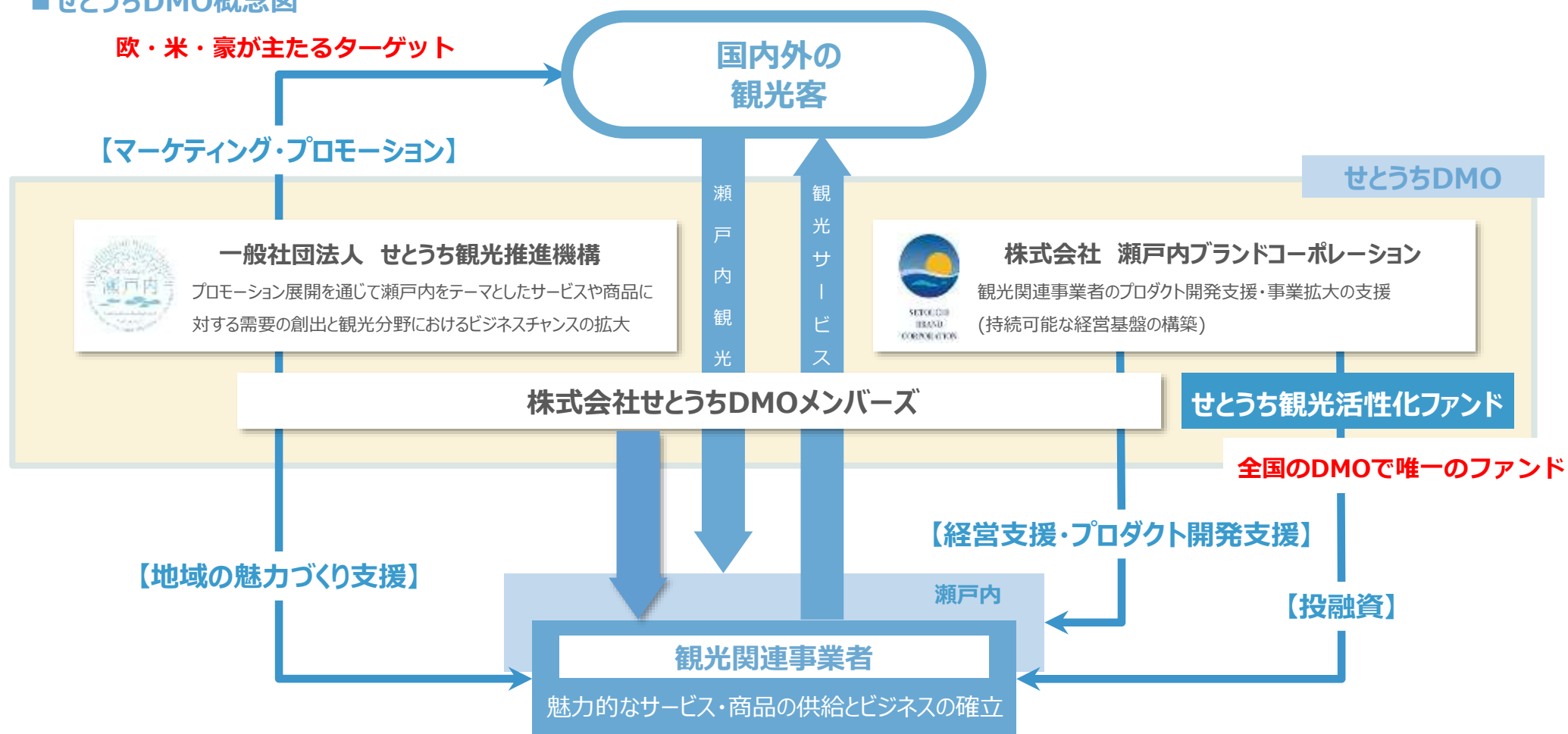
計46社

せとうちDMO概念図

せとうち観光推進機構はマーケティング・プロモーションを実施し、瀬戸内ブランドコーポレーションは『せとうち観光活性化ファンド』などを活用した事業者支援を行っています。

瀬戸内が有する幅広い観光資源を最大限活用しながら、多様な関係者とともに情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等を行い、地域の皆さまが主体となって行う観光地域づくりを推進します。

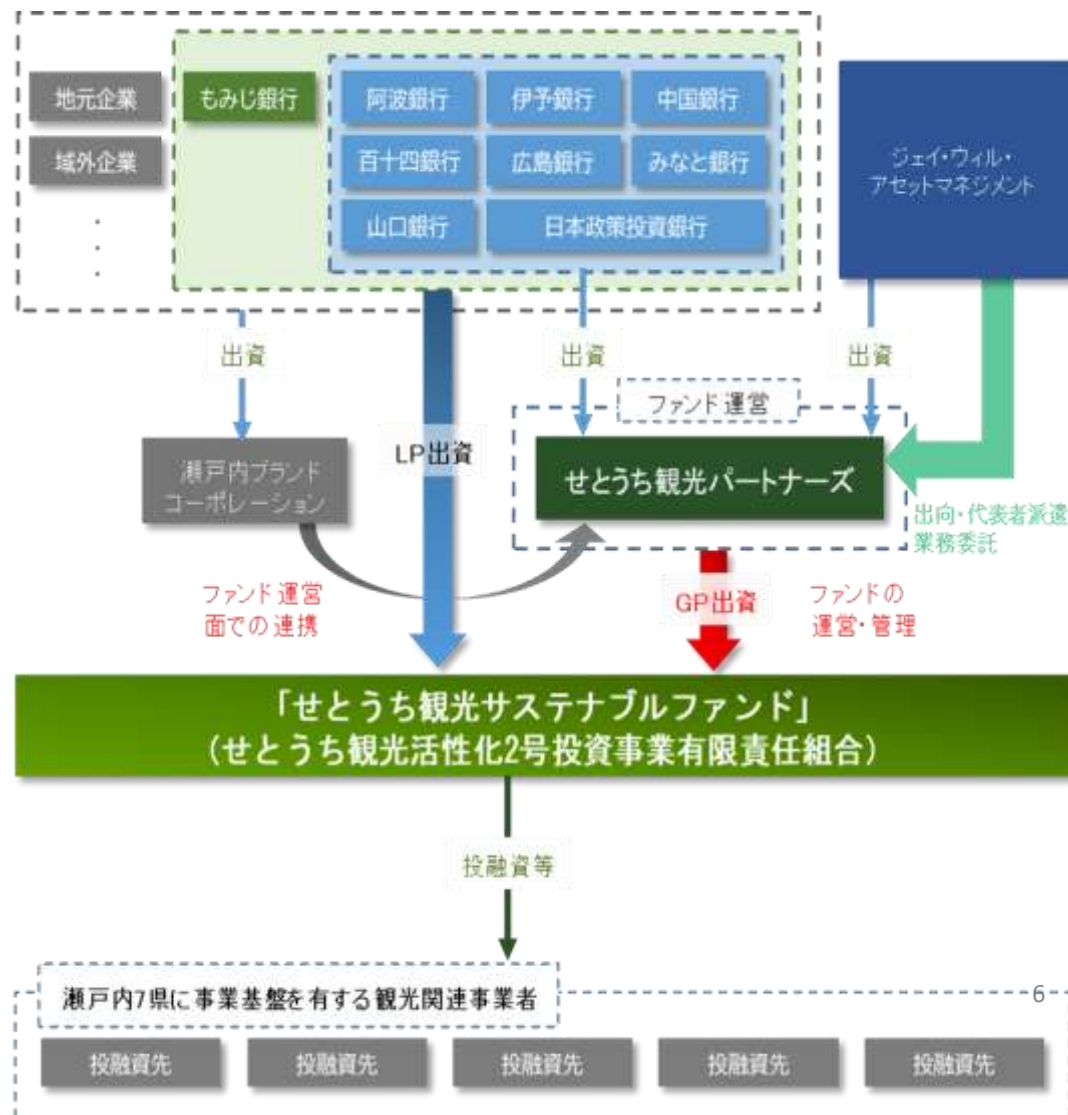
■せとうちDMO概念図



せとうち観光サステナブルファンド

2023年3月1日時点

| | |
|-----------------|-----------------------------|
| 商号 | せとうち観光活性化2号 投資事業有限責任組合 |
| 組成日 | 2023年2月15日 |
| 所在地 | 広島県広島市中区基町10番3号 |
| ファンド総額 | 49億円 |
| 無限責任組合員 (GP) | 株式会社せとうち観光パートナーズ |
| 有限責任組合員 (LP) | 瀬戸内エリア地域金融機関 8行 日本政策投資銀行 |



せとうちDMOの戦略テーマ

「せとうち」らしさをコンセプトにした6つのテーマの全てにサステナビリティを追求し、世界と戦える洗練されたコンテンツを目指します。

サステナビリティ

クルーズ



滞在型クルージングリゾート
「せとうち」の実現

サイクリング



サイクリストの聖地
「せとうち」の実現

アート



自然とアートの楽園
「せとうち」の実現

草間彌生「赤かぼちゃ」2006年
直島・宮浦港緑地 写真/青地 大輔

食



「せとうち」の食の
ブランド化

宿



「せとうち」らしい
宿の充実

地域産品



世界から認められる
「せとうち」ブランドの実現

せとうちの観光地域魅力UPのアプローチ

①せとうちエリアにマッチした ▶ **プロダクト化**



②せとうちエリアにマッチした ▶ **エリア化**



③せとうちエリアにマッチした ▶ **ルート化**

に取り組んでいます。

① せとうちエリアにマッチした

▶ プロダクト化

■ 中国・四国地方で初となる「ヒルトン広島」の誘致



- ・ 2018年10月瀬戸内ブランドコーポレーションが設立した特別目的会社富士見町開発合同会社とヒルトンが運営受託契約を締結
- ・ 420室の客室、料飲施設やスパ、プールなどに加え、約1,300平米(1,000人規模)の会議施設を備える「MICE」会場としてのニーズにも応える
- ・ 「せとうち観光活性化ファンド」より資金を拠出。2020年2月1日着工
- ・ 2021年7月に運営会社として瀬戸内ホテルズ（瀬戸内ブランドコーポレーション子会社）を設立
- ・ 2022年10月22日グランドオープン



②せとうちエリアにマッチした ▶ **エリア化**

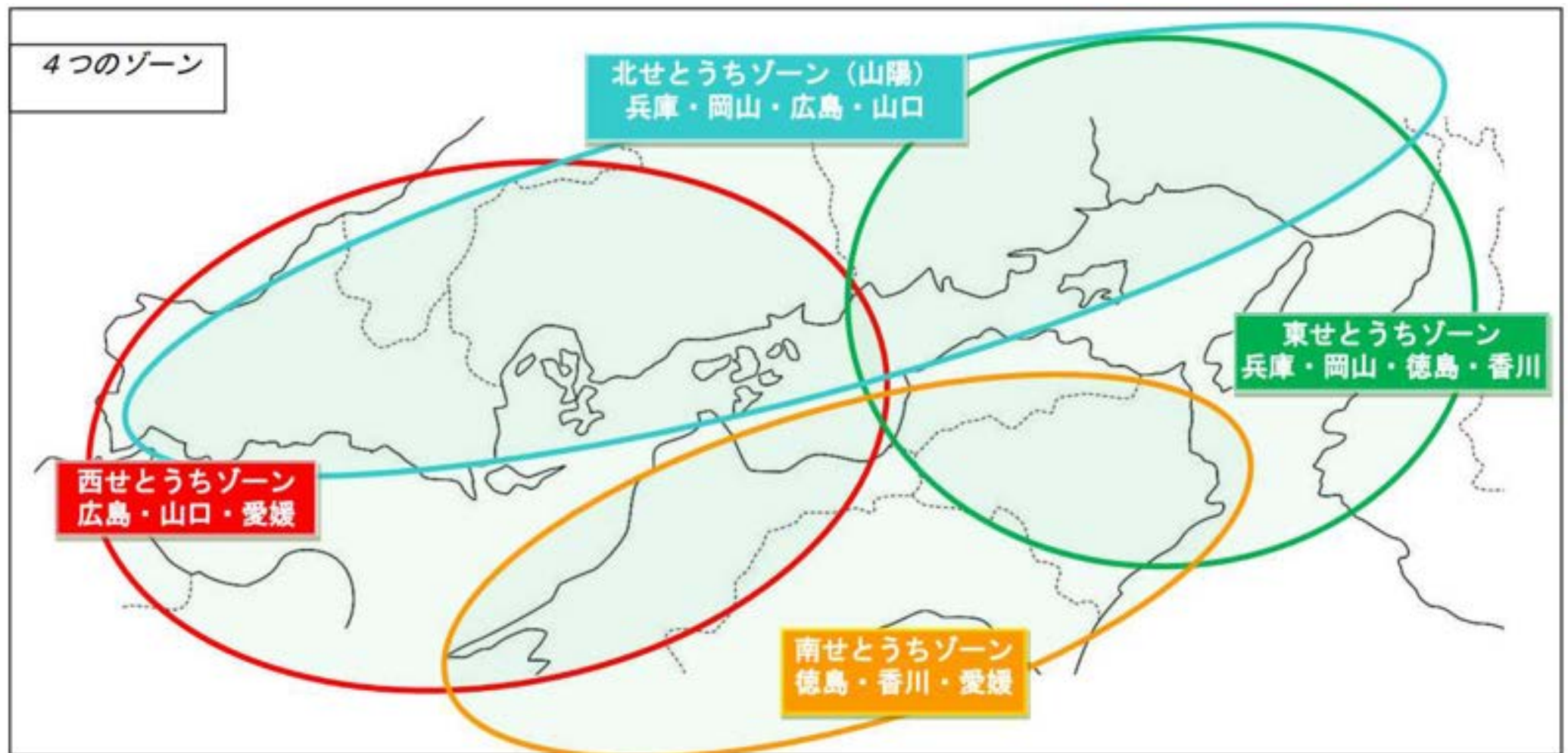
後半の「エリア化の取組事例」のパートにて、
エリア開発の事例をご紹介します。

③せとうちエリアにマッチした ▶ **ルート化**

欧米豪の高付加価値旅行者をターゲットとした
広域ガイドの育成や旅行商品の造成を行っています。

③せとうちエリアにマッチしたルート化の取組

せとうちを地理的に実際の人流に合わせた4つのゾーンに分け、高付加価値旅行者層に選ばれるプロダクトを軸とした広域周遊や滞在型ルートの形成を図る。
現在23の周遊ルートを選定中。



せとうちDMOによる観光地域魅力向上策

一広域ガイドの発掘・育成・ネットワーク化一

せとうち地域を広域にめぐるガイド付き商品の企画、ガイドできる人材の発掘・研修機会の創出および旅行商品化に向けた旅行会社への働きかけ等を実施する事業

STEP1 : 瀬戸内エリアの広域周遊ガイドを活用するコンテンツ（ルートなど）の企画、マーケットニーズに資する周遊コンテンツの開発

STEP2 : ポテンシャル人材に対し、広域周遊に資するガイド育成講座の実施

STEP3 : 広域ガイドを組み込んだ周遊コンテンツの開発、旅行会社等での販売、育成したガイドと旅行会社とのネットワーキングの場の設定
プラットフォームへの登録

一広域ガイドの発掘・育成・ネットワーク化一

＜広域ガイド展開で目指す姿＞

- ◎ 瀬戸内広域ガイド付周遊商品利用による、宿泊・消費単価の拡大
- ◎ 商品利用による、瀬戸内広域周遊ルートの定番化
- ◎ 商品に沿ったガイド経験増、ガイド間交流等による、瀬戸内広域周遊ガイドの質的向上

せとうちDMOによる観光地域魅力向上策

一広域ガイドの発掘・育成・ネットワーク化一

オンライン研修（2回） 188名参加



応募〆切：12月14日（水） **参加無料**

せとうちスルーガイド育成研修

数回内観人に対し、瀬戸内地域の美しい景観や伝統文化、芸術、食の魅力など、各地の知識にとどまらず、総合的なガイドができる「せとうちスルーガイド」を育成する研修の参加者を募集します！
*本研修は、オンライン研修2回と実地研修1回・計3回の参加を前提としています。

研修内容
オンライン研修：2回
実地研修：1回

お問い合わせ
平日9:30～18:00
研修事務局
(フタバパントリー株式会社内)
TEL: 03-6823-0906 (混雑)
MAIL: contact@wwwojapan.co.jp

POINT

- ① スポットガイドからさらに応用編ができる「スルーガイド」としてのノウハウを学べる
- ② フィールドワークで豊富なながらのガイディングを実践的に練習できる
- ③ 瀬戸内エリアのガイド同士のコミュニティで情報共有ができる

オンライン研修①
12月15日（水）
18:30～21:00

オンライン研修②
12月22日（水）
18:30～21:00

実地研修
2023年1月
想定

～スルーガイドに関する基礎～

- 1: 事業の説明・今後の展開
- 2: 旅行会社から見た瀬戸内エリアのガイドのニーズ
- 3: スルーガイド基礎研修

～ストーリーテリングによる魅力的なせとうちガイディング～

- 1: 造成ルートについて
- 2: ストーリーテリングのコツとワーク
- 3: 今後の研修についての補足

～造成ルートに基づいたエリアごとの実地研修～

せとうちエリアを3つに分け、各10名程度参加いただく1泊2日の実地研修
*集合場所までの移動費は各自にご負担いただきます

せとうち地域のガイド経験が豊富な講師陣

榎泰子
(一社)
地域創生グローバル人材支援協会
代表理事

池津敦子
企業選択案内士 (英・仏)
国内旅館管理業務主任者

主催 一般社団法人せとうち観光推進機構

実地研修（3コース） 選抜32名参加



せとうちDMOによる観光地域魅力向上策

ートレード等を活用した誘客促進ー

欧米豪市場に影響力のあるDMCやランドオペレーター等と連携し、
現地旅行会社へダイレクトにアプローチすることにより、
瀬戸内を含む訪日旅行商品の造成・販売促進および
海外現地での販売ネットワーク拡大を図る事業。

現地旅行会社へのセミナー

欧米豪市場の旅行会社50社に
対しせとうちセミナーを開催

地域の事業者様×DMC商談会

欧米豪市場に強いDMCと、
瀬戸内地域の事業者（サプライヤー）
との商談会を開催

地域の事業者様×現地旅行会社向け商品素材説明会

地域事業者から現地旅行会社に対し、商品素材説明
会を開催

DMCに対するFAMトリップの実施

実際に現地を視察してもらうことで商品造成・販売
に繋げる取組み



商品造成・販売 年間約2,000名の実績！

せとうちDMOによる観光地域魅力向上策

—トレード等を活用した誘客促進—

現地旅行会社へのセミナーの開催（オンライン） 参加者総計51名

せとうちDMOによる観光地域魅力向上策

ートレード等を活用した誘客促進ー

DMCに対するFAMトリップの実施 招聘者数13名



エリア化の取組事例

エリア化事例（尾道市瀬戸田エリア）①

広島県尾道市瀬戸田町（しまなみ海道 生口島）

↓青い○：生口島のある「しまなみ海道エリア」



↓オレンジ部分：生口島



2018年10月 サイクルシップ ラズリ運行



- ・ 船舶保有会社「瀬戸内チャーター」の設立
- ・ 自転車をそのまま持ち込める「サイクルシップ」を新たに建造
- ・ 建造資金にせとうち活性化ファンドを活用
- ・ 尾道⇄生口島（瀬戸田）を結ぶ定期航路で運航を開始
- ・ イベント時は貸切チャーター船として運航

2019年 エリアのビジョンを描く （尾道市より、瀬戸田地域の活性化事業を3ヶ年で受託）

しおまち商店街のビジョンと提供価値（2019年決定） 21



島の産業や観光資源、瀬戸内の中心にある立地を活かし、地域の方々の豊かな日常生活と観光客の非日常体験を提供できる、多様性のある商店街を目指します。

しおまち商店街が提供したい価値

| 地域の皆さま | 子どもたち | 商店街の仲間 | 観光の皆さま | 新たな仲間 |
|---|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 気軽に行きたくなる商店街 島の人と情報が集まる商店街 | <ul style="list-style-type: none"> 瀬戸田に誇りを持ち、再来働きたいと思える商店街 | <ul style="list-style-type: none"> "one for all, all for one" 一体感のある商店街 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の生活に触れられる商店街 瀬戸田やしまなみ海道の体験と滞在の拠点 | <ul style="list-style-type: none"> 新たなチャレンジができる商店街 |

しおまち商店街のコンセプトと基本方針（2019年決定） 22

●コンセプト

※誰もが言葉にできるキャッチコピー

住みたい街、しおまち
レモンとアートと人情と

【解説】

- 島の人だけでなく、訪れた人さえも「ここに住みたい」と思える街づくり
- 柑橘などの地域資源を大切に。連携を回す
- 海や苔ながらの景観を大切に
- 人情を決して忘れない

●目指す姿を実現するための5つの基本方針（2020-2025）

※地域内外が連携し、重点的に取り組むテーマと方針



住みたいまち しおまち

瀬戸田のまちで働く・遊ぶ！

- ➔ しおまちマガジン
空き物件を活用したい！
- ➔ 空き物件を探す
街と歩み寄りを実現したい！
- ➔ プロジェクトを起こす

WEBサイトについて
観光統計2021
お問い合わせ



2021年3月

日本旅館「Azumi Setoda」及び別棟銭湯「yubune」開業

- ・尾道市瀬戸田にある豪商屋敷「旧堀内邸」を宿泊施設として再生
- ・世界的なホテリエでアマンの創始者でもあるエイドリアン・ゼッカ氏の新ブランドの旅館
- ・観光客、地域住民向けの銭湯「yubune」を併設



Azumi Setoda（広島県尾道市）



Yubune（広島県尾道市）

2021年4月 「Soil Setoda」 開業



- ・江戸時代の建造の「旧瀬戸田民俗資料館」を観光案内所と「Overview Coffee」の国内初の焙煎所に改修
- ・隣地には「街のリビングルーム」をテーマとした新施設「SOIL SETODA」を開発。薪火料理のカジュアルな食堂「Minatoya」、瀬戸田を楽しむツアーを提供するアクティビティセンター、中長期滞在が可能なゲストルームのほか、誰もが自由に使えるラウンジスペースを備えた複合施設となっている

エリア化事例（尾道市瀬戸田エリア）⑥

2021年8月 グランピング施設「グランドーム瀬戸内しまなみ」開業



- ・ドーム型テントを採用したグランピング施設
- ・レンタサイクルや地元名産の瀬戸田レモンを使ったレモンスカッシュ作り体験などアクティビティも整備
- ・全室1棟貸切型で他の部屋と十分な距離・間隔を空けて配置、食事スペースは個別で設置するなど、コロナ感染症対策を徹底

ハードとソフトの両輪をつくる。

2018年10月
ラズリ運行



2021年3月
Azumi Setoda 開業



2021年4月
Soil Setoda 開業



2021年8月
グラウンド〜瀬戸内しまなみ開業



2022年8月
シトラスパーク 開業



まちの将来像をビジュアル化



シンボルツリー（レモン）を植樹



雨の日を楽しむ
レモン傘プロジェクト



交流の場
しおまちサミット



これからの
まちづくり体制の構築



空中戦と地上戦を展開



| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|------------------|------------|------------|------------|
| ワークショップ | 5回 | 7回 | 4回 |
| 小規模WS イベント等 | 2-3回 | 2-3回 | 2-3回 |
| 打ち合わせ 相談・作戦会議 | 数えきれ ない | 数えきれ ない | 数えきれ ない |



STEP1. 地域ビジョン策定

- ・ 思いを共有し、ステークホルダーが同じ方向に向かって進んでいくための将来のありたい姿を描く。

STEP2. 環境の整備

- ・ 機運を高め、仲間を集め、ステークホルダーとの合意形成を図っていく。

STEP3. 実践

- ・ ビジョンに基づいて、実体をつくっていく。

STEP4. 継続

- ・ 活動を継続するための仕組みと成果。

広島県庄原市の開発事例

（赤字施設は、瀬戸内ブランドコーポレーションの子会社による運営事業）

2019年9月開業
せとうち古民家ステイズ



2020年3月開業
せとうち古民家ステイズ



2022年4月リニューアル
宿泊施設「ラフォーレ庄原」



2021年4月リニューアル
アウトドア施設
「ひろしま県民の森」



2022年3月開業
グランピング「湖畔ステイズ」



2022年4月リニューアル
宿泊施設「鮎の里」



2021年5月開業
コワーキングスペース
「ほんまちスタンド」



エリア化事例（広島県庄原市エリア）⑪

2019年9月 古民家宿泊施設 2棟開業。2020年3月 1棟開業



- ・庄原市内の歴史的な古民家をリノベーションし、2019年9月に古民家宿泊施設「長者屋」「不老仙」を開業
- ・庄原で3棟目となる「こごこ森」は2020年3月開業
- ・古民家宿のオペレーションは庄原観光推進機構(庄原DMO)に委託
- ・庄原市の観光振興に関する様々な取り組みにおいて連携していくことを取り決め、庄原市と連携協定を締結
- ・併せて、庄原ならではの伝統的な生活体験や地域住民との交流を楽しむ農村滞在型旅行「農泊」を推進するため、地域の団体、事業者と「庄原古民家ステイ推進協議会」を設立し、体験プログラムの開発等を進めている

2022年3月

国営公園内におけるグランピング施設「備北丘陵公園 湖畔ステイズ庄原」の開発



静かな湖畔の森の中で
自然と一緒に、食べて、寝て、深呼吸して。
～ 湖畔ステイズ庄原 ～

- ・庄原市の国営備北丘陵公園を管理運営するグリーンウィンズ共同体と共に、公園内北入口エリアの旧ディスクゴルフ場跡地にてグランピング施設を開業

- ・全7棟の大型ドームテントを配慮し、国営公園の行き届いた整備環境の中で、クリーンな自然環境を楽しめる、公園の魅力を活用した施設となっている

広島県庄原市の開発事例



STEP1. 実践

- ・ビジョンに基づいて、実体をつくっていく。

STEP2. 継続

- ・活動を継続するための仕組みと成果

STEP3. 環境の整備

- ・機運を高め、仲間を集め、ステークホルダーとの合意形成を図っていく。

STEP4. 地域ビジョン策定

- ・思い共有し、ステークホルダーが同じ方向に向かって進んでいくための将来のありたい姿を描く。

エリア化からルート化へ

エリア化からルート化事例 ①

尾道市瀬戸田エリア から 庄原市へのルート化



エリア化からルート化事例 ②

尾道市 西山別館（旅館）から瀬戸田エリアへのルート化



尾道市内での新規プロダクト開発（老舗旅館の再生）①

尾道市内の老舗旅館「西山別館」の運営を子会社にて引継、リニューアルに着手



- ・ 2022年3月瀬戸内ブランドコーポレーションが設立した「株式会社せとうち旅館」が広島県尾道市の「西山別館」の運営を引き継ぐことで合意
- ・ 西山別館は、瀬戸内海を望む芝生庭園、敷地内に点在する歴史と格式に包まれた6棟8室の離れ客室、地域の迎賓館として利用されてきた宴会場を備えた長く地元で愛されてきた尾道を代表する老舗旅館

西山別館を『Ryokan尾道西山』として
2023年4月14日にグランドオープン。



Ryokan

尾道西山

「本当の尾道文化」を
体験できる旅館として
今、よみがえる。

尾道市内での新規プロダクト開発（老舗旅館の再生）③

Ryokan尾道西山 <https://o-nishiyama.co.jp/>



尾道市内での新規プロダクト開発（老舗旅館の再生）④

Ryokan尾道西山 <https://o-nishiyama.co.jp/>



**国立公園エリア内の眺望の優れた
老朽施設の再生にも積極的に
取り組みたいと考えております！！**

本日はご清聴ありがとうございました！